

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 20 年 1 月 24 日 (2008.1.24)

【公開番号】特開 2006-293805 (P2006-293805A)  
 【公開日】平成 18 年 10 月 26 日 (2006.10.26)  
 【年通号数】公開・登録公報 2006-042  
 【出願番号】特願 2005-115456 (P2005-115456)  
 【国際特許分類】

**G 0 5 D 7/06 (2006.01)**

**B 4 1 F 21/00 (2006.01)**

**F 1 6 K 3/00 (2006.01)**

【 F I 】

G 0 5 D 7/06 Z

B 4 1 F 21/00

F 1 6 K 3/00 D

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 12 月 4 日 (2007.12.4)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 9  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【 0 0 1 9 】

図 2 に全体を符号 2 0 で示すエア流量調整装置は、直方体状に形成された弁箱 2 1 と、この弁箱 2 1 の後述する第 1 のエア通路 2 4 と第 3 のエア通路 2 6 との間の第 1 の接続部 2 7 および第 2 のエア通路 2 5 と第 3 のエア通路 2 6 との間の第 2 の接続部 2 8 を縦断するように、矢印 B - C 方向へ移動自在に支持されたエア流量調整手段としての流量調整用プレート 2 2 とによって概ね構成されている。弁箱 2 1 の内部には、矢印 B - C 方向に延在し矢印 B 方向の端部が開口された扁平状の非貫通孔 2 3 が設けられており、この非貫通孔 2 3 には上記流量調整用プレート 2 2 が矢印 B - C 方向に移動自在に支持されている。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 2 5  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【 0 0 2 5 】

図 2 において、3 5 はワイヤーであって、一端部側が流量調整用プレート 2 2 の矢印 B 方向の端部に枢着されており、他端部が操作レバー 3 6 の揺動端部 3 6 a に枢着されている。操作レバー 3 6 は中央部が軸 3 7 によって揺動自在に支持されており、操作側端部 3 6 b に対応して流量調整用プレート 2 2 の移動量を付した目盛り 3 8 が設けられている。したがって、操作レバー 3 6 を軸 3 7 を中心として時計方向または反時計方向へ回動操作することにより、ワイヤー 3 5 を介して流量調整用プレート 2 2 が矢印 B 方向または矢印 C 方向へ移動する。